



## その5 開発建設部

# 羽地ダム試験湛水開始

平成十三年七月三日、羽地ダムの試験湛水が開始されました。米軍の計画立案から実に三十五年、今、ようやくダム湖が姿を現そうとしています。



湛水開始ボタンの押下

式典では、北部ダム事務所長、沖縄総合事務局次長の式辞、沖縄県技監、名護市長、地元代表者および施工者代表者からの祝辞を頂きました。橋本次長は「地元の方の」理解と関係された方々の努力のたまものである」と感謝の意を表し挨拶を行いました。

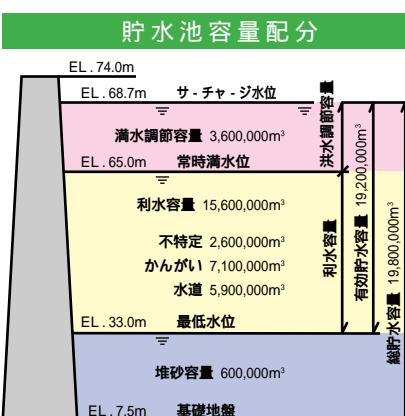
その後、取水塔前において北部ダム事務所副所長の「湛水開始」の合図とともにゲートのスイッチが押され、地元関係者等によりくす玉が開披されるなか、引き続き、技術管理官の音頭により出席者の万歳三唱で湛水式典は無事終了しました。会場の横では、パネルおよび取水塔模型が展示され、「日本初の空気一口式取水設備」の仕組みについて多くの方が質問する場面も見受けられました。

今後は試験湛水の確実な進捗と周辺整備等の工事を実施し、平成十六年度の完成を目指していきます。

位置：(左岸) 沖縄県名護市字田井等地先  
(右岸) 沖縄県名護市字親川地先

形 式：中央コア型ロックフィルダム

堤 高	66.5m
堤 頂 長	198m
堤 体 積	1,050,000m <sup>3</sup>
集 水 面 積	10.9km <sup>2</sup>
湛 水 面 積	1.15km <sup>2</sup>
総 貯 水 容 量	19,800,000m <sup>3</sup>
有 効 貯 水 容 量	19,200,000m <sup>3</sup>
設 計 洪 水 位	EL. 71.5m
サーチャージ水位	EL. 68.7m
常 時 满 水 位	EL. 65.0m



堤体右岸より